

セメダイン株式会社

本社 〒141-8620
東京事業所 東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎イーストタワー
☎ (03) 6421-7411

大阪事業所 〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル
☎ (06) 4964-5330

名古屋事業所 〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄2-3-1 名古屋広小路ビルヂング
☎ (052) 218-5316

札幌営業所 ☎ (011) 271-4929

仙台営業所 ☎ (022) 287-3611

福岡営業所 ☎ (092) 432-7520

<https://www.cemedine.co.jp/>

商品に関してのお問い合わせ先

接着技術相談センター ☎ 0120-58-4929
(土曜日・休日を除く10:00~12:00、13:00~17:00)



CSRレポート 2020

 CEMEDINE

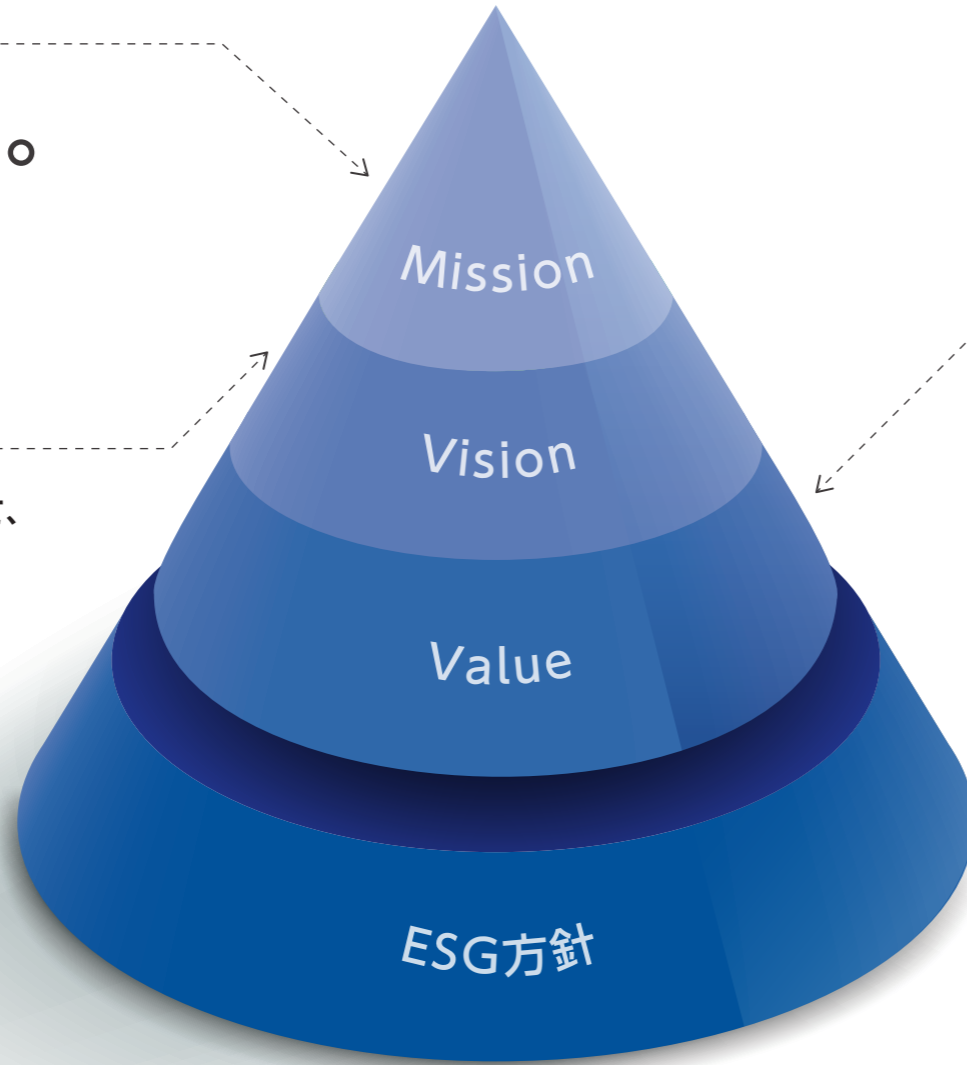
持続可能な社会の実現に向けて

私たちセメダインは、つける技術で社会に貢献します。

つけるが、価値。

つけることを通じて、
新しい価値を生み出し、
世の中の課題に答えを出す。

モノとモノ、コトとコト、ヒトとヒトをくっつけて、
テクノロジーの進歩や
豊かな社会の実現につなげる。



バリュー

- 驚きや感動を届けよう。**
不可能を可能にするアイデアと、暮らしに役立つ技術によって、
まだ見ぬ驚きや感動を届けていく。
- 挑戦を楽しもう。**
お客様のために、そして世の中のために。
決してあきらめず、前向きに、どんなことも面白がってやってみる。
- 成長につなげよう。**
創造力と生産性の向上によって、新たなビジネスをつくりあげていく。
自分の成長、そして会社の成長につなげる。
- 誠実に取りくもう。**
世の中のことをしっかりと考え、
環境にやさしく、安全なものづくりを通じて、より良い製品を提供する。

ESG方針

- セメダイングループは、社会課題にソリューションを提供する
接着剤メーカーとして、持続的な成長により企業価値を高め、
より良い未来の創造を目指します。
- 地球環境との共生
 - 人材育成とダイバーシティの推進
 - 地域や産業の発展への貢献
 - ガバナンスの強化

主なステークホルダーとの関わり

私たちは、セメダイングループと関わる全ての
人々を大切にする理念を掲げています。
様々なステークホルダーに対して私たちが
出来ること、そして取り組まなければならないこと(企業としての使命)を明確にし、最適
な形でコミュニケーションを図りながら、ス
テークホルダーと良好な関係を構築してま
いられます。



お客様	取引先	社会	株主・投資家	社員
<ul style="list-style-type: none"> ● 品質マネジメント ● 環境に配慮した商品開発 ● 物流上での安全配慮 ● 商品情報・サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安定調達 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主への利益還元 ● 株主・投資家との対話を通じた企業価値の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働安全衛生 ● 人材育成 ● 雇用の多様性 ● ワークライフバランスへの配慮
<ul style="list-style-type: none"> ● お客様相談窓口(接着技術相談センター)の設置 ● 営業担当・サービス担当によるお客様対応 ● WEBサイトによる情報発信 ● 展示会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日々の業務を通じての対話 ● 調達パートナーの訪問確認・フィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域イベントへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主総会 ● ニュースリリース・公告などによる適時の情報開示 ● WEBサイトなどによる情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 労使協議会、または代表との協議 ● コンプライアンス・リスク管理委員会 ● 社会環境報告書アンケート

index

- イラストで見るセメダイン 3
- 社長メッセージ 5

セメダインのESG



- 環境を大切に** 7
- ① 厳しい環境基準の運用
 - ② 環境への取り組み
 - ③ 事業活動と環境負荷
 - ④ 環境マネジメントの定量的評価
 - ⑤ エネルギー使用量・廃棄物の管理
 - ⑥ 環境会計



- お客様を大切に** 17
- ① 安心・安全な商品の提供
 - ② お客様ニーズへの対応
 - ③ 付加価値のある製品の開発
- 人を大切に** 19
- ① グループ全体の人材育成
 - ② ダイバーシティ化への対応
 - ③ 安全衛生
- 社会から必要とされる企業であり続ける** 22
- ① 地域社会への貢献
 - ② 適時適切な情報開示



- 企業価値の継続的向上に取り組む** 27
- ① コーポレート・ガバナンスの強化
 - ② コンプライアンス、リスクマネジメント
 - ③ グループ全体の品質・安全への取り組み

- サイトレポート 31
- セメダイングループの概要 33
- 会社概要 / 財務ハイライト / セメダインの事業・トピック
- グローバルネットワーク 35

本報告書の担当責任部署:

セメダイン株式会社経営企画部
連絡先: 〒141-8620
 東京都品川区大崎1-11-2
 ゲートシティ大崎イーストタワー18階
TEL: 03-6421-7375

報告の対象となる組織: 本報告の対象組織は、茨城工場、三重工場、衣浦工場、開発センター、各事業所、営業所、セメダインケミカル株式会社 岡山工場となります。その他の事業所に関連する場合、注記することとしています。報告対象期間:本報告書の記載内容は、特に注記のない限り、2019年4月から2020年3月までを報告対象期間としています。

※一部、対象期間以前からの取り組みや、直近の活動報告を含みます。

編集の基本方針: 環境省「環境報告ガイドライン」(2018年度版)を参考とし、ガイドライン項目に準拠して記載しています。

私たちの暮らしに身近なセメダイン製品

私たちの暮らしの中のさまざまなシーンにセメダイン製品が使用されており、快適な生活や環境保全に貢献しています。

① EXCEL II

ガラス廻り目地・金属パネル、板間目地用シーリング材

用途：ガラス廻り・外装パネル

JSIA F☆☆☆☆

耐候性が高く、美観維持に優れたシリル化アクリレート系シーリング材です。公共施設、マンション、オフィスビル、商業施設といった様々な建築物の長寿命化を実現します。



② スーパーX NO.8008シリーズ SX720シリーズ

一液・無溶剤・常温硬化形接着剤

用途：スマホ・タブレット等モバイル機器の筐体の接着／電化製品の基板部品のガタ防止

JAIA F☆☆☆☆/4VOC基準適合

広範な接着性能と高耐久性を兼ね備えた工業用接着剤です。金属やプラスチックなどのあらゆる素材が接着できる、「はがれない接着」が、設計の可能性を広げます。



③ シューズドクターN

靴用補修材

用途：すり減った靴底の肉盛り補修や破れ・亀裂の補修、補強・摩耗防止、すべり防止

すり減ったカカトを自分で直せる靴底用補修材です。スニーカーや革靴、ブーツなどの靴底の肉盛り補修の他、はがれ補修、すべり止めなどにもお使いいただけます。



④ SG-1L

建築内装用接着剤

用途：プラ木レン、巾木、胴縁等の建築部材の接着、内装造作用

CEMEDINE CLEAN&SAFE JIS A 5538

やさしい言葉 CCS JAIA 4VOC基準適合

プラスチック建材の接着も可能な、内装用多用接着剤です。無溶剤で扱いやすく、季節を問わない速乾性と、独特の密着感が現場の職人からも高い支持を得ています。





『つけるが、価値。』

「つけることを通じて、新しい価値を生み出し、世の中の課題に答えを出す。」
これは私たちのミッションです。

2020年10月、上記ミッションから始まる『マネジメントストラクチャー』を制定しました。マネジメントストラクチャーとは、直訳すれば『経営の基本構造』ですが、当社ではこれまでの企業理念に代わって明文化した『企業活動の基本とすべきもの』としています。

マネジメントストラクチャーの制定にあたり重視したことは以下の3点です。

- ①セメダインらしさがある
- ②過去から現在まで大切にしてきたことを未来につなげる
- ③社内で常に意識でき、また迷ったときに進むべき方向を示すものとなる

『ミッション』は、当社の存在意義、使命を意味しています。冒頭で述べた『つけるが、価値。』『つけることを通じて、新しい価値を生み出し、世の中の課題に答えを出す。』がミッションです。当社は新製品や新技術を追求するだけでなく、既存製品でも新しい用途や地域で展開することで新たな価値を生み出す、また現在のビジネスモデルを別の製品や市場で展開して新たな価値を生み出すというような広い意味を持っています。

『ビジョン』は、当社がこうなりたい、こういう社会にしたいという将来像を意味しています。「モノとモノ、コトとコト、ヒトとヒトをくっつけて、テクノロジーの進歩や豊かな社会の実現につなげる。」としました。当社製品が接着する【モノ】に加えて、社内外において行動【コト】や人【ヒト】をくっつけることによって、より良い未来づくりに貢献するというものです。

『バリュー』は、当社の信条、判断の指針、大切にすべき行動を意味しています。「驚きや感動を届けよう。」「挑戦を楽しもう。」「成長につなげよう。」「誠実に取りくもう。」です。当社の組織、またメンバーの一人一人がこれらのバリューに沿って判断や行動をしていきます。

『ESG方針』は、これまでの『CSR基本方針』『セメダイン5つの気持ち』をアップグレードしました。今後、具体的な目標と取り組みを4つのポイントでまとめ、ステークホルダーに対して発信していきます。

改めて『つけるが、価値。』を合言葉に、当社は自らの歩みを加速させ、皆様と共に来る2023年に輝かしい創業100周年を迎えたいと考えております。

代表取締役社長 天知 秀介

セメダインのESG

E

Environment

環境を大切にする

化学物質を取り扱う企業として、化学物質に対する認識を深め、適切な管理を行うとともに、製品を提供する企業責任として、製品の性状、安全性、取り扱い方法を明確にし、それらを利用するすべての人たちの安全と健康、および環境を守るために、様々な活動を展開しています。



環境を大切にする

厳しい環境基準の運用

環境管理体制

お客様に、安心して当社製品を使用していただくための品質保証体制として、品質保証部の下に、品質保証を担う品質保証G、工場生産製品の品質を管理する品質管理G、化学物質に関する規制や法令等を管理する化学物質管理Gがあります。GHS*対応を始めとした近年の化学物質に関する各国の関心の高まりや社会に与える影響の大きさより、化学物質規制がより一層のスピードと精度で求められるようになりました。2020年の4月から世の中のニーズに呼応する為に、環境管理Gから化学物質管理Gに名称変更し、体制を強化しました。

基本的な考え方

近年、世界的に化学物質に対する法規制がますます厳格化されてきております。その中でセメダインは、接着剤の総合メーカーとして、法令遵守をリスク管理における生命線と位置づけ化学物質管理に取り組んでいます。世界各国の法規制とその動向を把握し、各国の化学物質の規制に適合した製品の設計を継続するとともに、化学物質製品情報の開示要求に速やかに対応し、化学品・製品安全の推進に努めています。2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD[ヨハネスブルグサミット])」においては、化学物質の管理に関する「2020年目標」が提唱されています。この目標達成に向け、セメダインはモントリオール議定書、ストックホルム条約、ロッテルダム条約などにおける国際懸念物質の廃絶と、新たに追加が予定されている規制物質を含有する製品の代替などの取り組みを推進し、また化学物質管理に関する情報提供を積極的に行うことで、社会全体のリスク低減に向けた貢献を続けています。さらには、化学品管理分野におけるエキスパートとして、工業会活動などを通じて、化学品の安全・規制に関する課題の検討と対策に積極的に関わっています。

海外の製品リスク管理・規制への対応

環境に関わるリスクは多岐にわたり、法規制は世界各国において年々強化されています。このような状況を踏まえ、当社では、化学物質管理Gが中心となって、新しい環境法規制に関する情報収集やリスクなどの分析を行い、法令遵守を徹底しています。具体的には、様々なセミナー、工業会、コンサルタントなどを通じて、海外の化学物質に関する最新情報を収集し、法規制の改正などに速やかに対応する体制を整えています。欧州における化学物質規制REACH*の制定をはじめ、中国・韓国・台湾などで、化学物質のリスク管理強化を目的とする法規制化が進み、東南アジア諸国でも、GHS*が導入されるなど、各国でSDS*などの整備が進められています。製品を輸出する際は必ず、各国の既存化学物質リストへの記載有無の確認を徹底するとともに、製品設計の上でも、確認精査するよう取り組んでいます。既存化学物質リストへ記載されていない物質を各国へ輸出する際には、申請手続きを実施している他、海外で製造もしくは輸入している製品中の化学物質について、対象国での化学品管理制度に基づき、その数量や危険有害性に応じた登録を進めています。

※GHS(Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)：化学品の分類および表示に関する世界調和システム。

※REACH(The Regulation for Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)：欧州連合における化学物質の登録・評価・認可及び制限に関する規則。

※SDS(Safety Data Sheet)：化学製品を安全かつ適切に取り扱うために、製品に含まれる物質名、危険有害性情報、取り扱い上の注意などに関する情報を記載した書類のこと。

海外法規制に対して

2020年までにSAICM*を達成させることが国際的な目標となっており、それに向けて世界各国(中国、韓国、台湾、タイ、米国、トルコなど)で化学品に関する新たな法規制が制定・改正されています。特に、欧州のREACHに端を発するすべての既存の化学物質を対象とした登録義務化が、韓国、台湾でも導入されようとしています。セメダインはこのような各国の法規制に対応し、各部署や海外関係会社と連携し、現地にて法規制最新動向情報の収集を行い、より正確で確実な法令対応を取る体制を整備しています。

※SAICM(Strategic Approach to International Chemicals Management)：2002年の国連環境計画管理理事会において決議された国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ。

紛争鉱物への対応について

コンゴ民主共和国とその周辺諸国で採掘される鉱物(タンタル、タングステン、錫、金)の一部が、人権侵害や環境破壊などを引き起こす武装勢力の資金源となっているとの懸念から、2010年、米国にて金融規制改革法(ドッド・フランク法)が制定され、米国上場企業に対し、それら鉱物の使用状況に関する報告義務が課されました。当社では紛争鉱物対応に真摯に取り組み、顧客への情報開示を行うことが、グローバル企業として社会的責任を果たすことであると考えています。

製品の化学物質管理への対応

各種法令対応 2019年度の取り組み(国内)

2019年度は、主に毒物及び劇物指定法令の一部改正について適切に対応しました。法令に指定された物質を含有する製品につきましては、SDSの交付、GHSラベル表示の変更などを実施しました。2019年5月には国連GHS文書改訂6版に基づきJIS Z 7252、JIS Z 7253が改正され、情報入手と社内での情報周知に努めました。

各種法令対応 2019年度の取り組み(海外)

2019年度は引き続き、世界的な化学物質に関する法改正に対応できるよう、様々なルートを通じて情報を入手し、対応を行ってきました。米国についてはTSCA、Proposition 65への対応を行いました。中国、韓国、台湾をはじめとするアジア各国では、化学品に関する法規制の改正が進んでいます。動向を注視しながら、新規化学物質の登録等の対応を行いました。また欧州についてはREACH登録や、高懸念物質、認可・制限物質の情報収集などを継続的に行っています。

化学物質管理の教育

化学物質を適切に管理するために、化学物質を取り扱う社員に対して、化学物質の有害性/危険性、適切な取り扱い方法ならびに化学品規制などの教育を行っています。また、営業管理部門を対象とした、国内外の化学品規制コンプライアンス教育を定期的実施しています。



化学物質の情報管理の強化に向けた活動

化学物質の管理について

セメダインおよびグループ各関係会社は、製品の開発から廃棄までのすべての過程において、環境関連物質による環境への負荷を低減するために、製品および製造時に使用する化学物質の管理を実施しています。

①使用物質の把握・管理

製品により、下記の基準に基づき、使用物質の禁止、管理を進めています。

- ◆法規制
 - 化審法、労働安全衛生法、食品衛生法、PRTR法、RoHS指令*、REACH等
- ◆用途
 - お客様の要求(お客様の化学物質管理規程等)
 - 当社の化学物質管理方針

②開発における原材料の選定

製品の開発に当たり、上記の基準を踏まえ、不純物を含め、原材料の選定を行っています。

③購入原材料の管理

原材料に起因する、意図しない化学物質の混入を防ぐため、「グリーン調達ガイドライン」を制定し、以下の要領で管理しています。

- ◆原材料メーカーに対する、環境関連物質の管理を含む環境管理システムの構築の依頼
- ◆購入する原材料のSDSによる情報収集および、1項の基準により制限を受ける物質の分析データおよび、「化学物質含有情報シート」の要求
- ◆不適合発生時は是正処置要求および効果の確認

④製造における異物混入、不純物管理

- ◆製品の化学物質管理の要求レベルが製造現場で把握できる体制の確立
- ◆管理レベルの異なる製品の設備的分離又は、異物混入防止対策の徹底
- ◆異物、不純物混入防止作業の徹底とその教育の実施

⑤RoHS10物質の検査

カドミウム、六価クロム、水銀、PBB、PBDE、DIBPIについては、既に全廃し、規制値を超える可能性は有りません。鉛、BBP、DBP、DEHPについても用途および使用場所を限定・管理しています。これらを含む原材料を使用する製品もありますが、設備的分離又は、混入防止対策の徹底により、規制値を超えることなく管理しています。その上で、以下のように検査の内容を定めています。

- ◆非鉛、非DEHP専用ライン製造製品は、定められた頻度で分析を行い、安定した生産状態であることを確認する
- ◆DEHP、BBP、DBP使用ラインでは、改正RoHS指令規制対象用途に使われる製品は生産しない

- ◆鉛化合物使用ライン製造製品は、すべての該当製品を分析、検査する

他の化学物質については、分析技術未確立などの問題がありますが、当社に原材料を供給していただいている原材料メーカーと綿密な連携のもと、お客様の要求にお応えできる管理状況となっております。

⑥SDSおよび製品ラベルのGHS対応

セメダイングループでは、世界各国で導入されているGHSに対応したSDSの発行、製品ラベルの貼付を推進しています。GHSは、①化学品を危険有害性に応じて分類し、②製品の包装容器にラベルで表示し、③SDSに内容を記載し提供することを世界的に統一する仕組みです。国内では労働安全衛生法で対象物質含有製品のラベルとSDSについてGHS化が義務づけられており、セメダインでは対象物質を含有するすべての製品について危険有害性を分類し、ラベル表示の対応を完了しました。SDSについては、すべての国内製品についてGHS化を完了しました。海外向けについてもEU、韓国、台湾、中国などGHSの法制化がなされた国への対応を完了しています。

⑦含有化学物質情報の入手と提供

(1)グリーン調達ガイドラインの実施

セメダインでは、環境に配慮した安心できる製品を提供するため、「グリーン調達ガイドライン」を定め、製品の環境負荷物質管理や、原材料・包装材料の取引先の品質・環境管理の調査を行っています。具体的には、SDSや、chemSHERPA-CI/AI*、環境管理に対する調査表の提出を求めています。さらには、製品を開発する際の重要配慮事項として、化学物質に関する国内外の法規制を調査し、RoHS指令や高懸念物質(SVHC)をはじめとする、使用禁止化学物質が含有していないことを確認しています。また、新製品のみならず、既存製品におきましても、随時、見直しを進めています。

(2)chemSHERPA-CI/AIの作成

製品含有化学物質情報の伝達に関して、chemSHERPA-CI/AIのデータ作成支援ツールによる運用に積極的に取り組んでいます。

※RoHS指令：欧州連合(EU)による、電子・電気機器における特定有害物質の使用制限についての指令。

※chemSHERPA-CI/AI：新情報伝達スキーム製品に含有される化学物質を適正に管理し、拡大する法規制に継続的に対応するためのサプライチェーン全体で利用可能な新しい情報伝達共通スキーム。

環境への取り組み

環境方針の制定

2003年に、全社の環境活動の基本となる環境方針を制定しています。

基本方針

セメダイン株式会社は、全社員が環境の重要性と資源の有限性を認識し、その保全・保護・改善に不断の努力を行うとともに、環境を視野に入れた企業発展を目指し、社会的責務と事業活動を両立した環境保全企業を指向する。

行動指針

セメダイン株式会社は、「接着剤・シーリング材ならびにこれらの関連製品の開発・生産・販売」の事業活動において、その活動を地球環境の保護に調和させ、かつ持続的発展の可能な環境保全型企業実現のため、全社員が遵守すべき指針を以下に示す。

- ①製品の開発から廃棄に至るすべての事業活動において、環境・安全・健康への影響に配慮することを経営の重点課題とし、全社挙げてこれに取り組む。

- ②環境保護に対する社内体制の整備、環境負荷低減目標の設定、環境保護活動の推進に積極的に取り組むとともに、これらの活動を通じて環境へのさらなる意識向上を図る。

- ③製品の全サイクルを通じ、環境保護のための省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物削減などの環境負荷低減に積極的に取り組み、その継続的改善に努める。

- ④国・地方自治体・業界などが定める環境関連規制をよく理解するとともに、必要に応じて自主基準を設定し、これらの規制・基準を遵守する。

- ⑤製品の輸出や海外での事業活動に際しては、現地の環境保護・法令等に配慮し、必要な対策の実施に努める。

環境マネジメントシステムの構築

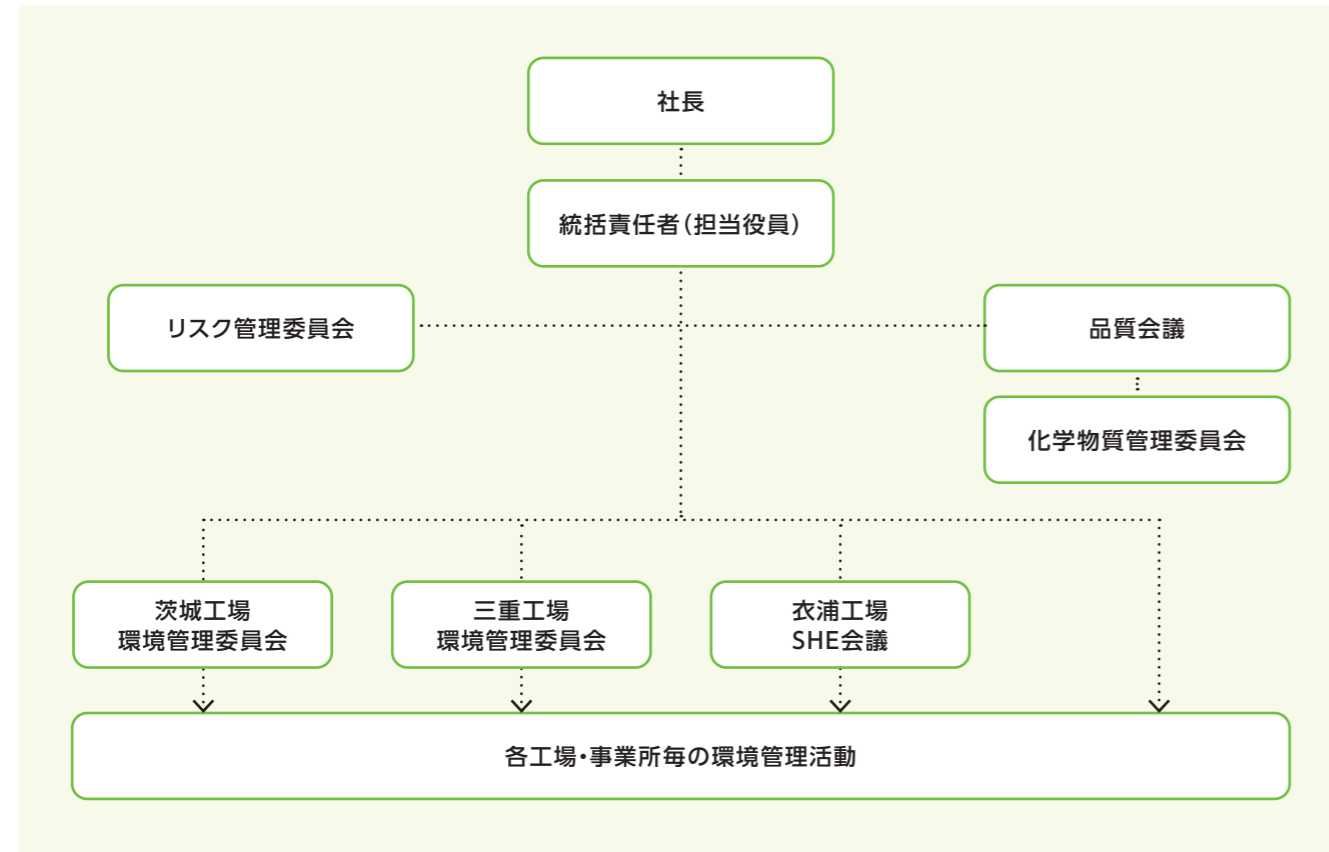
2000年9月に三重工場、2002年3月に茨城工場において、日本化学キューエイ(JCQA)より環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、活動しております。製造部門は、当社の中でも特に環境負荷の大きい部門ですが、両工場が歩調を合わせて、ISO14001のシステムに基づき、PDCAサイクルを回して継続的改善に取り組んでいます。また、2018年9月には、衣浦工場が新たに認証工場として加わり、継続して環境負荷軽減に取り組んでいます。

ISO14001定期維持審査と内部環境監査

環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得している茨城工場、三重工場、衣浦工場では、外部審査機関(日本化学キューエイ、DQS)の定期維持審査を受けて、システムの定着・運用状況を確認しています。また、所定の教育を修了した内部環境監査員により、全部署の内部環境監査を実施しています。指摘や要改善事項が示された場合には、迅速に是正しています。内部および外部で発見された指摘事項に対する改善を繰り返すことにより、継続的な改善を行っています。



推進体制の強化



環境マネジメントプログラムの策定

各事業所の環境管理活動の指針となる全社環境マネジメントプログラムを策定し、各事業所の活動の基準としています。

全社環境マネジメントプログラム

1	資源・エネルギーの使用量把握と削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力・重油の使用量を削減する。
2	廃棄物排出量の把握と削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物を削減する。
3	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)排出量を削減する。 ● 環境法令を遵守する。 ● 建物・設備の導入・更新時に環境に配慮する。 ● グリーン購入を推進する。
4	化学物質使用量の把握と削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 有害化学物質の使用量を削減する。 ● 使用する化学物質の環境影響評価を行う。 ● 包装材料使用量を把握する。
5	環境配慮製品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮製品の開発、販売を推進する。
6	環境情報の公開と外部コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境活動内容を公開する。 ● 企業活動を通じて地域・社会へ貢献する。

事業活動と環境負荷

INPUT

原材料

ゴム類 …………… 242t	油脂・溶剤類 …… 1,201t	無機材料 …… 15,103t
樹脂類 …………… 10,505t	有機薬品類 …… 3,861t	その他 …… 40t

電力 …… 6,341千kwh	燃料 …… 929kL	水 …… 80,440m ³
-----------------	-------------	---------------------------

工場

対象
茨城工場
三重工場
衣浦工場
セメダインケミカル株式会社 岡山工場

混合 …… 充てん …… 包装

CO₂排出量：電力燃料使用量より算出した数値。

VOC排出量：日本接着剤工業会の重点削減物質使用量に一定の係数を掛けた値。
[n-ヘキサン、シクロヘキサン、トルエン、キシレン、メタノール、酢酸エチル、アセトン、メチルエチルケトン、ゴム揮発油]

OUTPUT

製品 …………… 31,210t	CO ₂ …… 5,672t	再資源化 …… 430t
------------------	---------------------------	--------------

廃棄物 …………… 1,494t	VOC …… 7.8t
------------------	-------------

環境マネジメントの定量的評価

全社環境マネジメントプログラムの結果

○：改善、△改善されているが不十分、×：改善できず、-：評価なし

	2017	2018	2019	目標	実績	自己評価
CO2排出量(t)	5,832	5,773	5,672	-	温対法により行政に報告したCO ₂ 排出量は101t(1.7%)の減少となりました。尚、省エネ法によるエネルギー使用量の行政への報告値は、前年度の2,629KLから2,617KL(原油換算値)に減少しました。	○
電力使用量(千kwh)	5,651	6,530	7,019	工場部門：生産量原単位比で1%削減 事務所部門：1%削減	茨城工場のコージェネレーション設備の稼働を抑えて、A重油使用から買電にシフトした影響で、電力使用量は増加しています。工場部門、事務所部門とも増加となりました。	×
A重油購入量(kL)	1,047	985	856	生産量原単位1%削減	上記の電力へのシフトの影響もあり、購入量は前年度から13%減少しました。生産量当たりの原単位でも12.8%の減少となっています。	○
VOC排出量(t)	11.0	12.4	7.8	-	日本接着剤工業会の重点削減対象9種類の使用量(購入量)に、大気への排出値として1.05%(工業会の設定した基準値)を乗じた値です。溶剤系接着剤の生産量の減少等もあり、今年度は大幅に減少しました。	○
ガンリン購入量(kL)	23	33	39	-	ガンリンの購入量は増加しています。	×
PPC用紙購入量(万枚)	286	279	158	-	ペーパーレスの業務を進めており、購入量は大幅に減少しています。	○
水使用量(m ³)	78,215	91,686	81,745	-	節水に努め、昨年度より大幅に削減できました。	○
一般廃棄物排出量(t)	39	39	59	年間100t以下	廃棄物の分別を徹底し、産業廃棄物の排出を抑える活動を進めていますが、その結果として一般廃棄物が増加する結果となりました。目標値はクリアしています。	○
産業廃棄物排出量(t)	1,120	933	961	年間生産量の5%以内	工場から排出される、製品の切り替え等で発生する産業廃棄物です。前年度から28t(3%)増加しましたが、年間生産量に対して3.9%と、目標である5%以内は達成しました。	○
有害廃棄物排出量(t)	69	75	62	年間生産量の0.5%以内	工場から排出される特別管理産業廃棄物です。前年よりも13t減少し、年間生産量に対して0.05%となり、目標である0.5%以内を維持しています。	○
環境配慮製品の開発(件)	42	24	38	-	色、規格等の重複を除いた、開発部で新規に設計、上市された製品の数です。	-
環境配慮製品の販売額(百万円)	10,521	11,429	11,734	総売上金額の30%以上を維持	当社基準のCCSマーク品、JIS、JAIAのF☆☆☆☆品、JAIAの4VOC基準適合品の販売金額です。売上高(24,037百万円)に対する比率は約49%であり、目標である30%以上を維持しています。	○
新規使用材料の環境調達基準適合確認(件)	8	7	26	-	グリーン調達を進める中で、新しく採用する原材料の自社調達基準への適合を確認した件数です。なお、実施率は100%です。	○
環境関連の教育・訓練回数(件)	64	82	83	-	主に工場部門での環境汚染防止等を含む訓練、外部講習の回数です。	○
環境事故発生回数(件)	0	2	0	-	工場内での異常発生回数です。なお、法令に抵触するような事故の発生はありません。	○
第三者監査・第三者監査(件)	14	22	15	-	ここ数年の増加傾向から、減少となりましたが、お客様の要求は高く、是正の要求も多岐にわたります。	-

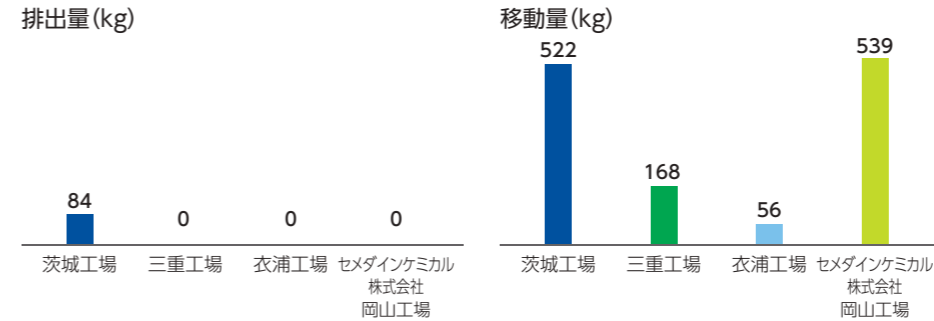
対象：茨城工場・三重工場・衣浦工場・開発センター・各事業所・各営業所

エネルギー使用量・廃棄物の管理

環境負荷の低減

化学物質の取り扱いおよびエネルギー使用において、環境負荷の低減を進めています。

化学物質の適正管理 PRTR対象物質実績(2019年度)



PRTR法詳細：環境汚染の防止を目的に、各事業者が化学物質の管理に自主的に取り組むべき法律としてPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律1999年7月公布)が制定されました。こ

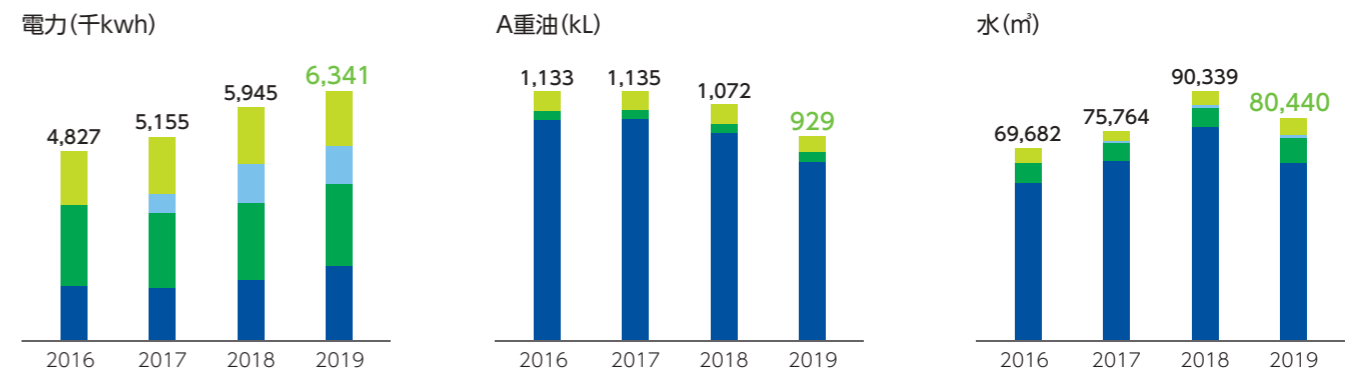
の法律の規制のひとつとして、指定された取り扱いの化学物質の環境への排出量(大気や土壌への排出)や移動量(廃棄された物)を国へ届け出る必要があり、これにより事業者は自主的に削減に取り組むことが要請されています。

NO.	化学物質
239	有機スズ化合物
298	トリレンジイソシアネート
300	トルエン
349	フェノール
391	ヘキサメチレンジイソシアネート
392	ノルマルヘキサン
405	ほう素化合物
411	ホルムアルデヒド

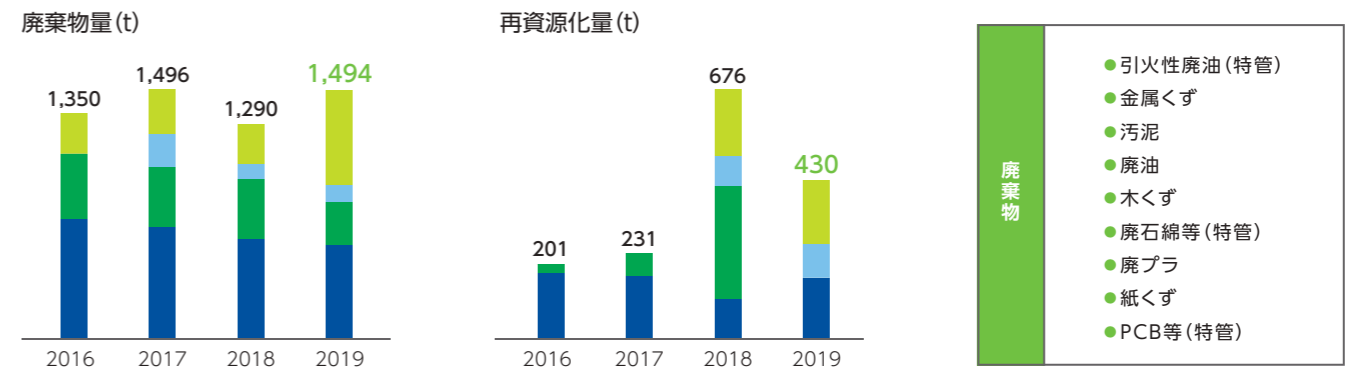
エネルギー使用量・廃棄物の実績

2019年度の廃棄物排出量は前年度から204t(15.8%)増加しました。製品構成の変化により、歩留まりの低下が原因です。

エネルギー使用実績



廃棄物実績

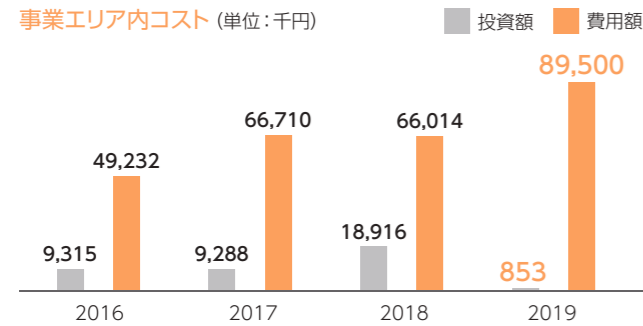


廃棄物
●引火性廃油(特管)
●金属くず
●汚泥
●廃油
●木くず
●廃石綿等(特管)
●廃プラ
●紙くず
●PCB等(特管)

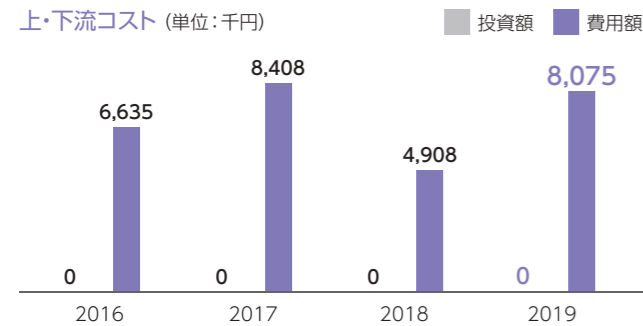
環境会計

環境保全コスト

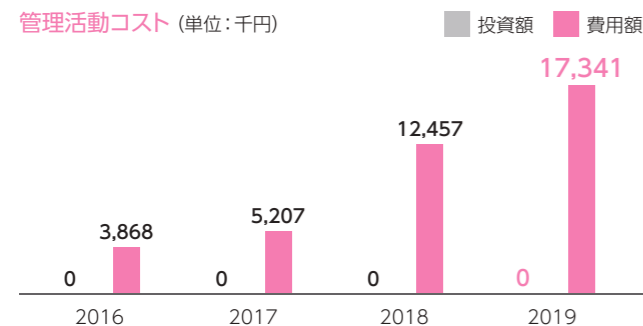
事業エリア内コスト (単位: 千円)



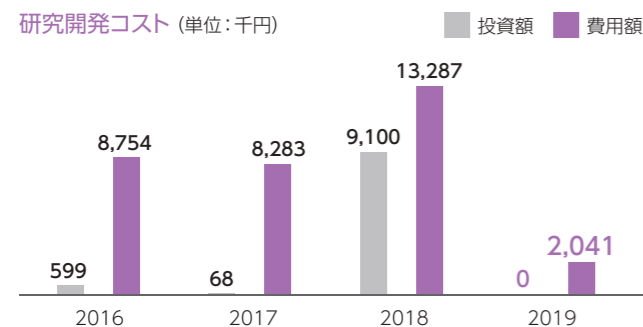
上・下流コスト (単位: 千円)



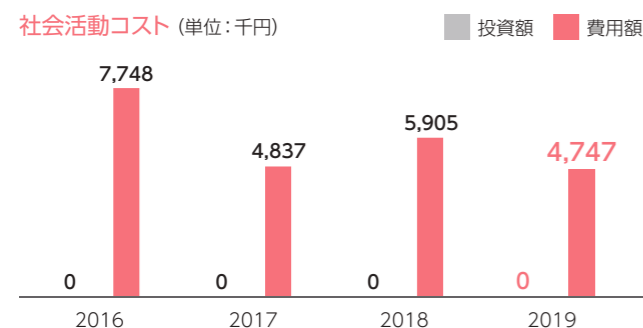
管理活動コスト (単位: 千円)



研究開発コスト (単位: 千円)



社会活動コスト (単位: 千円)



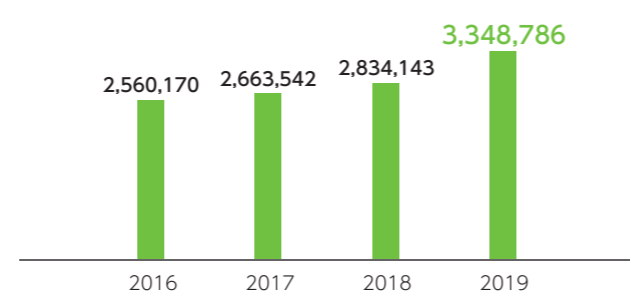
環境保全への取り組み

分類	主な取り組み内容
事業エリア内コスト	公害防止コスト <ul style="list-style-type: none"> ● 霞ヶ浦工業用水使用 ● コンプレッサー更新 ● コンプレッサー点検・修理 ● ボイラー点検・修理 ● 浄化槽清掃・点検 ● 排水測定
	地球環境保全コスト <ul style="list-style-type: none"> ● 集塵機フィルター交換 ● 空調機更新 ● 空調機修理・清掃・点検 ● 照明交換
	資源循環コスト <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物処理外部委託
上・下流コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 容器包装リサイクル委託 ● 製品の再商品化(再加工) ● グリーン購入 ● 環境配慮品用の製造設備設置
管理活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境マネジメント ● 環境測定費 ● 保安講習 ● シルバー人材活用 ● 草刈り ● 塗装
研究開発コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規分析装置への投資
社会活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> ● ベルマーク教育助成財団寄付金 ● レスリング協会協賛金 ● 古河市花火大会協賛金 ● 西日本豪雨寄付金 他

環境保全効果

分類	主な内容
エネルギー関連	● 節電、重油使用量の削減
廃棄物関連	● 有価物の売却
環境配慮品の市場展開	● 環境配慮品の製品利益

環境保全効果 (単位: 千円)



セメダインのESG

S

Social

お客様を大切にする
人を大切にする

社会から必要とされる企業であり続ける

法令遵守を第一に掲げ、お客様・取引先との関係を、公正かつ健全なものとしていきます。そして、品質に優れ、安心・安全で環境に優しく、社会に有益な製品とサービスを提供することで、社会に貢献し、企業価値を高めていきます。



お客様を大切にする

安心・安全な商品の提供

安定調達の推進

調達品において材料の仕様書取り交わし、グリーン調達に関する情報提供を頂き適切な品質確保を行い、取引先様とは、取引基

本契約の締結した中で、公平・公正な購買取引を通じて、取引先様との協力と信頼関係の構築に努めています。

調達基本方針

- ①取引先様と相互の企業価値の向上を目指した調達活動を推進します。
- ②地球環境への負荷低減を目指し、グリーン調達に取り組みます。
- ③公平かつ公正な取引機会を提供し、品質、価格、供給安定性、技術開発力、環境保全、安全確保への取り組み等を総合的に考慮した合理性のある取引を行います。
- ④国内外の関連法規制を遵守した取引を行います。

遵法・購買倫理

- 国内外の法令を遵守し、「セメダイングループ行動規範」や、社内諸基準に則り良識ある行動に努めます。
- 取引先様との契約を誠実に履行します。
- 取引先様より知り得た情報はその重要性をよく理解し、秘密保持に努めます。
- 取引先様とは、公正・公平・透明・合理的な業務手順を念頭におきながら共存共栄を目指す関係を築いていきます。

購買取引の原則

- 経済的な合理性に基づき、適正価格での取引を行います。
- 取引先様選定にあたっては、品質・価格・供給安定性・技術開発力・環境保全・安全確保・納期等から合理性のある選

択を行います。不採用の場合、要望によりその理由を説明します。

- 取引先様とのコストダウンの取り組みでは、連携のもと積極的に推進します。

購買取引に於けるCSRの実践

- 原材料等の購買取引は、購入品の品質・安全性確保のため、法令、グリーン調達ガイドライン及び諸基準を適用します。
- 購入品が、その生産・流通に於いて、地球環境の保全に配慮されており、人権侵害に関わるものでないことを確認します。

取引先様へのお願い

- 当社「調達基本方針」の趣旨を理解し相互の企業価値の向上を目指して、ビジネスパートナーとしての協力をお願いします。
- 経済合理性に裏付けられた合理化等の各種提案をお願いしています。
- コンプライアンス・人権・労働安全・環境・品質・安全等への取り組み状況の明示を求め、協働してCSRを実践していくことをお願いしています。

サプライチェーンマネジメントの構築

社会的背景

企業活動のグローバル化が急速に進む中、途上国を中心としたサプライヤーにおける人権侵害、労働問題、環境破壊などが顕在化するようになり、企業は、自社のみならず、サプライチェーン全体でCSRの取り組みを行うことが必要であることをセメダイングループは認識しています。

セメダイングループにおけるリスクと機会

人権侵害、労働問題、環境破壊などがサプライチェーンによって引き起こされた場合、取引停止やブランドイメージの低下、労働ストライキや訴訟への発展などのリスクにさらされる可能性があります。セメダイングループでは、人権・労働・環境保全などの社会

的責任をサプライチェーンを通じて遂行するため「調達基本方針」に基づき、サプライチェーン全体でCSR活動強化、適正な取引のための取り組みを行っています。

方針

セメダイングループは、公正で公平な取引のもと、法令・社会規範の遵守、人権・労働・安全・健康への配慮、生物多様性の保全や化学物質のリスク管理などによる環境保全への配慮等の社会的責任をサプライチェーンを通じて遂行する為に、「調達基本方針」を制定しています。また、当社は2005年度に環境関連物質に関する「グリーン調達ガイドライン」を制定しており、お取引先とのパートナーシップ体制の構築によりCSR調達水準のさらなる向上に取り組んでいます。

お客様ニーズへの対応

VOICE パッケージへ消費者心理に合ったシグニファイアをデザインする

消費者から「どの接着剤を選べばいいのかわからない」という声が多く寄せられています。これは一般消費者が店頭で数多くの接着剤から用途に適した商品を選ぶシーン等において「迷い」「不安」が生じていることを示しています。

当社はその要因を少しでも取り除くことが一般消費者のニーズに対応する一つの手段と考えました。そこで取り組んだのが接着剤のパッケージデザインを消費者心理に合わせた見直し検討することです。

店頭における消費者の視線がどのように動いているかを

把握する為にアイトラッキング調査を実施。また、従来以上に商品の特長・種類・硬化色等をより短い時間で直感的に認知することを促す為のシグニファイアをパッケージに取り入れるデザイン活動にも取り組みました。接着剤選びにおいて消費者心理として潜在的に潜む心理負担も軽減することを目指します。

コンシューマー営業部
商品開発チーム
高森 貴章



付加価値のある製品の開発

VOICE 潜在需要を掘り起こす除菌と消臭ができる防水スプレー

防水スプレーはレインウェア・傘・ウィンタースポーツのウェアなどに使用されます。

当社は防水されるモノが消費者に与える潜在的懸念点について調査した結果、撥水製品は洗濯できないケースが多いことがわかりました。また、折り畳み傘は通勤・通学で使用後、湿った状態で長時間暖かい場所で菌が繁殖しニオイが発生したりカビが発生しているケースも多数見受けられることが判明。一方、市販の除菌・消臭製品を使用しなくても撥水性を阻害する恐れがあり、使用できないケースも多く見受けられました。消費者が撥水加工製品を除菌・消臭するには十分な知識が必要です。この問題を解決する為に開

発したのがセメダインの「防水スプレー除菌・消臭」です。噴射することで撥水性を復活させると同時に染み付いたニオイをとりのぞくことができます。今後もセメダインは消費者・モノに寄り添い価値を創出する製品開発に取り組んでまいります。

コンシューマー営業部
商品開発チーム
高森 貴章



防水スプレー除菌消臭プラス



人を大切にする

グループ全体の人材育成

適材適所の配置転換・人事評価

当社では、「人を大切にし、より良い製品をより多くの人々に提供することにより社会に貢献する」ことを企業理念とし、その理念を具現化するために長期的、継続的かつ計画的に人材の開発・育成を図っています。今年度より評価制度の改定を行い、上司部下の面談によるコミュニケーションの機会を増やすことで、人事評

価を通じて人材育成につなげる取り組みを行っております。また、人事異動を通じた育成も重視しており、年2回の評価および年1回の自己申告制度などを用い、能力や適性を見極めて人員配置しています。

ダイバーシティ化への対応

ダイバーシティ化への取り組み

労働人口の減少という社会環境の変化に伴い、優れた人材に当社で働きたいと思ってもらうことの重要性は日に日に高まっております。当社では、勤務時間に一定の裁量をもたせることで、これからも多様な人材に働きやすい就業環境を構築改善していきます。今後は障害者雇用にもより力を入れ、幅広い人材を受け入れられる態勢を構築していきます。

雇用・採用の状況

2019年度は12人の新入社員を採用しました。うち5名が技術系、4名が事務・営業系、3名が技能系です。性別の内訳は男性9名、女性3名でした。他社で経験を積まれたエキスパートの方の中途採用も積極的に行っています。また、柔軟な勤務時間を活かしてパート社員の方々にも多数働いていただいています。

休暇取得推進について

当社では労使一体となって休暇取得の促進に取り組んでいます。夏季には会社指定の休日のほか、「夏休み」として、個々の社

員が裁量を持って連続年休を取得するよう推進しております。また、永年勤続の労に報いるため長期休暇制度を設けており、長期休暇に向けて職場内の仕事がカバーしあえる環境を意図的に構築することで、普段から休暇が取得しやすい風土づくりをしています。

ワークライフバランスの推進

既に雇用している社員のワークライフバランスを高く保つことも当社の重要な責務と考えています。仕事と子育ての両立を重視し、育児をする社員には育児休業、小学校就学前までの子を養育する場合は所定外労働の制限・育児短時間勤務制度などを設けております。また、小学校卒業までの子を養育する社員へは、フレックス勤務制度を導入しております。社員のニーズにあった働きやすい会社をこれからも実現していきます。

VOICE 長期休暇制度取得者の声

勤続30年で節目休暇を取得しました。稼働日20日のまとまった休み!ならば、旅行だろ!と言う事で、前半はおがさわら丸での硫黄島ツアー、後半は新幹線E7系での金沢ツアーを敢行しました。24時間の船旅(2等和室最高!)は初体験、父島のゆったり過ぎる日々は今までの生き方を見直すきっかけになりました。一方、金沢はご当地グルメ(おでん、カレー、ラーメンetc)とオーケストラアンサンブル金沢のコンサートを堪能しました。文字通り「リフレッシュ」できた休暇、職場の皆様のご理解、ご協力感謝申し上げます。



三重工場総務チーム 鈴木 快典

VOICE 制度利用者の声

産休・育児休暇制度を経て1歳の子供を育てながら働いています。復帰前は育児との両立ができるか、仕事をこなしていけるかなど不安もありましたが、所属チームメンバーの協力もあり、現在は育児短時間勤務制度を活用しながら日々の業務に奮闘しております。今後は柔軟にフレックス制度などを活用しながら育児との両立、仕事のスキルアップをしていくと共に、制度を利用した方がさらに活躍できる機会が増えるような働き方を目指していきます。



品質保証部
品質管理グループ
井上 崇子

上長の声 勤務時間を選ぶことができる、というのは、仕事のやり方に自分で責任をもって進めなければならない、ということですから、いろいろ苦労もあるだろうと想像していますが、工夫してやってくれているな、と感じています。今後、仕事

場所や時間に縛られない働き方というのは、間違いなく広がっていく方向だと考えますが、よい事例を積み重ねて、後進の手本になってもらいたいと考えています。

品質保証部 品質管理グループリーダー 阿部 祐輔

安全衛生

労働安全衛生法の徹底

すべての事業活動において安全操業を継続していくため、法令遵守はもちろん、必要に応じて自主基準を設定して安全衛生レベルの向上に努めています。各事業所においては、安全衛生活動を

推進していくための組織体制を整備し活動を展開しています。具体的な活動として、5S活動やリスクアセスメント、安全パトロールなどにより継続的な改善活動を行っています。

安全・品質査察の実施

安全衛生活動は各事業所単位で自主的に改善を進めていく活動ですが、その活動の状況を客観的に評価し、課題共有、改善指導、支援する仕組みとして、2017年より「CR査察(品質・安全・環

境)」がスタートし、2019年度より安全・品質査察と名称変更し*、3回目となる査察を実施しています。査察結果については、定量評価をして各事業所の課題を明確にしています。

*CR査察の正式名称が安全・品質査察に変わりました。

安全・品質査察

安全・品質査察とは、セメダイングループの製造拠点において、操業状況を把握し、必要に応じて改善し、事故発生を未然に防止することを目的としています。各事業所の安全衛生・環境・品質に関する活動状況を査察し、実施すべき事項が明確になっているか、計画を立てて実施されているか、実施レベル(実績)等を、査察委員が客観的にチェックして評価するものです。査察対象事業所はセメダインおよび国内外グループ会社の各工場で国内6拠点、

2019年度の取り組み

国内

国内事業所では、従来からの5S活動、KY活動、リスクアセスメント、ヒヤリハット、教育訓練などの活動を継続的にを行い、労働災害や火災事故等の防止を図っておりますが、2019年は関連会社(セメダイン化工)で不休業災害が1件発生しました。災害の程度は大きくありませんでしたが、潜在的な災害リスクに対する認識が希薄になっていることを反省し、再発防止に努めるべく安全・品質査察による改善指導に取り組んでいます。また、2019年度は、火災爆発リスクと静電気に関する講習会を国内全事業所で実施しました。今後も作業に携わる全員が災害リスクに関する正しい知識を身につけ、対策を遵守することの重要性を理解し徹底していくため、全事業所向けの社内講習会などを行うことにより継続的に安全意識高揚のための活動を推進して行きます。



茨城工場査察風景(国内)



セメダイン化工石下工場査察風景(国内)

海外4拠点(*CNL除く)です。2019年度は、火災爆発リスク・安全の引き継ぎ書・工場操業報告の確認に重点を置くことにより、メリハリのある効果的な査察になるよう工夫をして評価しています。今後も、この安全・品質査察を継続的に実施していくことによりセメダイングループ各事業所の安全衛生活動、改善活動を支援していくこととしています。

*CNL(CEMEDINE NORTH AMERICA LLC)

海外

セメダイングループの海外製造拠点は、タイに2拠点と台湾、フィリピン、アメリカの計5拠点あります。多くの海外事業所は、高温多湿の気候であるという環境から、日常的に静電気を実感できないということもあり、国内事業所よりも静電気による火災爆発リスクに対する危険意識が希薄な傾向があります。そこで継続して、安全・品質査察の重点項目に設定して、火災爆発リスクの評価と低減対策の指導を進めています。法令遵守は当然ながら、静電気が発生しにくい環境でもその可能性はゼロではないこと、リスク低減策の重要性の理解と啓蒙を進めています。



セメダインタイランド査察風景(海外)



安全講習会風景

社会から必要とされる企業であり続ける

地域社会への貢献

協賛

高専ロボコンと小学生ロボコン

創業以来、ものづくりの現場に寄り添い続け、「つくる」を「つける」で支えてきたセメダインは、次世代のモノづくり人材に関する教育支援も積極的に行っています。

1988年に始まり、「既存概念にとらわれず、自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの大切さや素晴らしさを広めてきた『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)』への協賛を通じ、モノづくりに熱い想いを懸ける若きエンジニア達を応援しています。

また、STEAM教育をはじめ、教育現場においてロボットやAIへの注目が高まる中、小学生向けに2019年より始まった『小学生ロボコン』も、セメダインはサポートしています。子供達がモノづくりに触れ、発想することの面白さとカタチにする楽しさを体験する機会を提供し、技術面だけでなく、豊かな心の成長にもプラスになるよう願っています。

スポーツ

スポーツには、挑戦する勇気を与え、互いに支え合い、喜びを分かち合う感動を生み出し、人と人をくっつけ、世界をひとつにするチカラがあります。感動を分かち合える心豊かな社会の実現に向けて、セメダインも、スポーツ協賛を通じ、挑戦する人々を応援していきます。

プロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」1969年に本社移転して以来、半世紀以上にわたり品川区を拠点に事業活動を

行っているセメダインは、同じ東城南エリアをホームタウンに活動しているプロバスケットボールチーム「アースフレンズ東京Z」を、チーム設立当初よりサポートし、地域社会におけるスポーツ文化の振興育成に共に取り組んでいます。

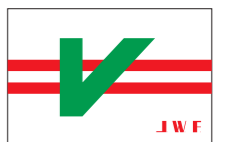
また、チームが推進する「体にハンディのある方や、さまざまな理由により観戦にお越しいただきにくい方にもスポーツを観て楽しんでいただく」ことを目的とした座席「ユニバーサルシート」の設置にも共感、協賛しています。

「日本レスリング協会」レスリングの発展を通じ、国民の体力向上とスポーツ精神の涵養に資することを目的に、世界の第一線で活躍するメダリストをはじめ、全国少年少女レスリング大会で腕を磨いているキッズレスラーから、学生、社会人選手まで、レスリングの普及・発展と選手育成に取り組んでいる日本レスリング協会の活動に賛同し、支援しています。

ベルマーク

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」。ベルマーク運動は、そんな願いをこめて1960年に始まりました。対象商品についているベルマークを集めることで、その点数に応じて、学校の設備や教材を購入することができ、さらに、遠隔地学校や特別支援学校、災害被災校、開発途上国の子どもたちへ援助の手を差し伸べることができます。

セメダインも、ベルマーク運動に賛同し、1979年より協賛しています。(ベルマーク番号:84)



地域貢献活動

2019年4月

茨城工場 小学1年生への木工用接着剤の寄付

2015年4月より古河市の小学校に入学する1年生全員に木工用接着剤を贈呈しています。2019年度も4月に茨城工場長から針谷古河市長への贈呈式を行いました。



2019年4月

衣浦工場 木工用贈呈

衣浦工場も茨城工場や三重工場と同じく、碧南市の新小学1年生へ人数分の木工用接着剤を寄付しました。教育長から謝辞を頂戴しました。

2019年4月・7月・10月・2020年3月

三重工場 工場周辺道路の清掃

三重工場では地域社会貢献活動として、毎年工場周辺道路の清掃を年間計画に取入れ実施しています。



2019年10月の様子



2020年3月の様子

2019年9月・2020年3月

茨城工場 美化運動・清掃活動

茨城事業所では年2回工場周辺の道路および歩道の清掃活動を実施しています。清掃は各職場から参加し、タバコの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどのゴミを回収するなどの清掃活動を実施しました。



2019年10月

茨城工場 「古河関東ド・マンナカ祭り」への協賛

古河市工業会の会員として古河市主催の「古河関東ド・マンナカ祭り」のチャリティクイズの景品として製品提供を行いました。

2020年1月

本社 職場訪問の開催

地域貢献活動の一環として、弊社への職場訪問を開催し、品川区立の中学生を受け入れました。当社の事業にまつわる社員の働き方を紹介し、実際に社内や社員の様子を見学していただきました。具体的な職業観に繋がる将来の進路選択について考える場を提供しました。



2020年2月

茨城工場 高校生のインターンシップ

県立工業高校の進路指導の一環として、茨城工場に高校2年生の生徒2名を2月17～19日の3日間、受け入れました。初日は安全講習等を行った後、製造現場で製品の箱詰めを行いました。

2019

SPRING

SUMMER

AUTUMN

2020

WINTER

2019年4月

三重工場 「緑の募金」へ協力

地球温暖化や自然破壊を防止すべく、森林づくりの応援として「緑の募金」に毎年協力しています。

2019年6月・2020年3月

茨城工場 献血活動

茨城事業所では年2回献血を実施し多数の社員が献血に協力しています。今年度は6月と3月に実施しました。



2019年6月

三重工場 漏洩防止の強化

有事の際、液体の製品や材料が敷地外に流出しないよう、吸油マットや土嚢、漏洩遮蔽板を設置しています。社員は年に1回流出防止訓練を実施、納入業者様には異常時の対応手順を看板に表示しています。

2019年8月

茨城工場 古河花火大会への協賛

古河花火大会の最大の目玉は三尺玉で壮大なスケールで花開き見る人を圧倒します。打ち上げ総数も約20,000発と関東最大級の花火大会に協賛を行っています。

2019年8月

衣浦工場 防災訓練参加

碧南市総合防災訓練に参加しました。

2019年11月

茨城工場 青少年のための科学の祭典協賛

2006年に「青少年のための科学の祭典古河大会」に協賛してから毎年、科学の祭典で使用する製品の提供を行うことで、古河大会を盛り上げるべくバックアップしています。

2020年1月

衣浦工場 出初式

消防出初式、防火風揚げ大会に参加し、新春福引大会の抽選役として協力しました。



2020年3月

三重工場 小学校新1年生へ木工用接着剤の贈呈

2020年度小学校新1年生へのお祝いとして木工用接着剤を準備、亀山市教育委員会へ贈呈しました。



適時適切な情報開示

情報開示に関する基本方針

当社では、ホームページや事業報告書などを通して、株主・投資家の皆様に適時・適切な情報開示を行っております。投資判断に影響を与える決定事実や発生事実に関する情報、決算に関する情報、既に開示した重要な内容について訂正・中止などが行われた場合に情報開示を行います。また、経営上の重要事項に限らず、トップインタビューや当社の歴史、製品に関するコラムなどについても、投資家の要望に応えるべく、出来るだけ積極かつ公平に開示し、当社についてご理解いただけるよう努めております。

適時開示体制の概要

当社における会社情報の適時開示に係る現行の社内体制は、管理部長を情報取扱責任者に据え、法令および東京証券取引所の諸規則を遵守し、適時適切に開示を行うよう努めております。投資判断に影響を与える決定事実および発生事実については、情報取扱責任者を中心に開示の要否を検討し、開示が必要な場合は迅速に行うよう努めております。

IR情報の開示

当社では広くステークホルダーの皆様向けに、決算情報やニュースリリースなどをタイムリーに把握いただくために、ホームページに開示情報を適時掲載しております。また、半期に一度、株主の皆様へ事業報告書を送付し、トップメッセージや事業の概況についてお知らせしています。



当社ホームページ
<https://www.cemedine.co.jp/>



事業報告書

IRスケジュール

5月	6月	8月	11月	2月
決算発表	定時株主総会	第1四半期決算発表	第2四半期決算発表	第3四半期決算発表

※公表すべき重要事実が発生した場合は、適時に情報開示を行います。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する安定的な利益配当を、経営の最重要課題の一つとして認識しております。株主の皆様への利益還元を重視しつつ事業の成長および企業体質強化のための内部留保

の充実を総合的に実現すべく、継続的な利益確保とバランスのとれた安定配当を行うことを基本方針としております。

株主総会

当社は、株主総会を株主の皆様と経営者との対話を行える貴重な場として、認識しております。そのため、株主の皆様が株主総会議事事項について検討を行う十分な時間を取るように、招集通

知の早期発送やホームページへの掲載、WEB開示などに取り組んでいます。また、事業報告をよりわかりやすくする工夫として、グラフなどを用いた報告事項のビジュアル化に取り組んでおります。



セメダインのESG

G

Governance



企業価値の継続的向上に取り組む



お客様、株主・投資家、取引先、社員、社会、環境など、
企業をとりまく様々なステークホルダーと
コミュニケーションを図りながら、
社会の期待と信頼に応えられる体制を構築してまいります。



企業価値の 継続的向上に取り組む

コーポレート・ガバナンスの強化

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

東京証券取引所による「コーポレート・ガバナンスコード」の推進により、コンプライアンス体制を構築し、株主や投資家を守り、企業価値を高めて、持続的に発展する体制を構築することは、今や上場企業だけでなく、あらゆる企業の取り組むべき課題となっています。当社グループでは、構築したガバナンス体制のもと、ニーズ

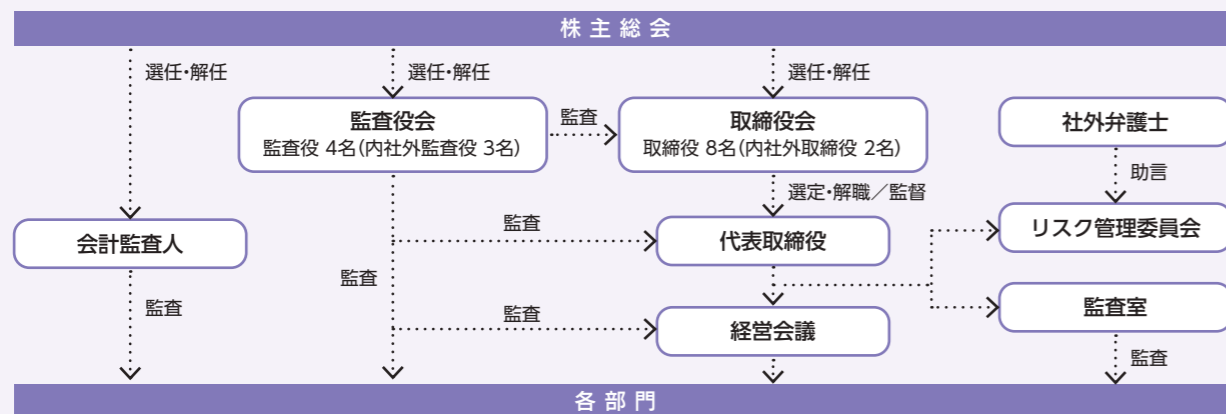
を先取りした製品の開発や継続して利益の出る企業体質を実現することで、お客様や原材料メーカーとの安定的なお取引、社員の雇用継続など、当社とかわりを持つ人々に利益を提供するとともに、製品の安全や地球環境の保全を重視し、安心して長くお付き合いいただける企業を目指しています。

CSRを支える体制

内部監査は、取締役会により構築されたガバナンスとリスク・コンプライアンス体制の下、内部監査人協会(IIA)の「内部監査の専門職的実施の国際基準」に準拠し、経営目標の効果的な達成に役立つことを目的としております。全部署を対象とし、内部監査規程

およびリスク評価に基づいた監査実施計画を立案し、合法性と合理性の観点から、公正かつ独立の立場で、業務の遂行状況进行评估しています。必要に応じ、被監査部署に改善や是正を提言するとともに、監査結果は、定期的に取り締役に報告されます。

コーポレート・ガバナンス体系図



コンプライアンス、リスクマネジメント

セメダイングループ行動規範

基本理念

セメダイングループの役員及び社員は、業務遂行にあたり法令・社内規程等を遵守すると共に、公正と秩序、誠実と信頼をモットーとし良識ある社会人として行動する。

遵守事項

- ①法令等を遵守し、業務上の都合を優先させるようなことはしません。
- ②就業規則その他の社内規程等を守り、互いに人格を尊重し、就業環境の向上に努めます。
- ③社会と社員の安全を最優先します。
- ④業務遂行に当たり、リスク要因の情報収集と未然防止に努めます。

- ⑤取引先には誠実かつ公正に接し、信頼される取引関係を築きます。
- ⑥業務上知りえた情報や第三者の知的財産権等を適切に取り扱い、インサイダー情報、個人情報及び社内機密情報を漏洩しません。
- ⑦反社会的勢力には毅然として対応し、一切の関係を遮断します。
- ⑧行動規範に反する発言や行動に気付いた場合は、是正に努めると共に、速やかに上司またはリスク管理委員会に報告します。

コンプライアンスの推進体制について

コンプライアンス維持のための組織として、リスク管理委員会を設けております。リスク防止のための基本規程として、リスク管理基本方針およびリスク管理基本規程を定め、グループすべての社員にリスクの認識やコンプライアンスの徹底を図っています。また、セメダイングループ行動規範は、小冊子として全社員に配布し、常に携帯を義務付けています。さらに月に一度は部や課の朝礼・会議などの機会に基本理念と遵守事項を読み上げて、周知と徹底を図っています。加えて、年1回のコンプライアンス研修を実施するなど、社内全体にわたり知識のボトムアップに努めております。

BCPIについて

事業継続計画(BCP)については、緊急事態の発生をリスクとしてとらえ、リスク管理委員会が主管となって推進しています。東日本大震災の教訓をもとに、本社での緊急事態発生時の体制整備、緊急事態における各部門の役割の明確化とその準備、各工場・物流拠点との連携と指示などを明確にしたBCPマニュアルを整備しています。また、本社以外の各拠点(大阪・名古屋事業所、茨城・三重・衣浦工場)での緊急事態発生時の初動体制なども検討を行い、シミュレーションによる全体訓練を検討しています。

情報管理の取り組みについて

当社の情報管理については、基幹システムを社外データセンターに設置し、外部から保護された環境において、すべての業務処理を、そこで集中実施しています。また、USBメモリーなどの情報媒体による情報の移動を禁止し、情報漏えいの防止を行っています。各システムのセキュリティ管理については、情報統括担当部門である管理部が一括で管理を行い、外部からのウィルスの侵入や不正アクセスの防止に努めています。個人情報についても、各部門にて厳格に管理されており、その管理状況については、毎年監査室が内部監査を実施しています。

リスクマネジメントの考え方

当社のリスクマネジメントとしては、各部門が自らリスクの調査を行い、新たに発見されたリスクに対して対処を行うとともに、リスク管理委員会に報告しています。また社長を委員長とする内部統制委員会を設けて、会社の各機能(販売、購買、製造、決算など)について仕事の流れを明らかにし、業務記述書を作っています。その業務に対してリスク(不正が起こる要因)とコントロール(不正が起こらないように行う統制行為)を調査し、特に重要なコントロールをキーコントロールと指定して公認会計士とともに内部統制委員会が監査を行い、その結果を社長名にて内部統制報告書として関東財務局へ報告しています。

グループ全体の品質・安全への取り組み

当社グループの品質保証体制

当社の品質保証体制は経営直轄型を取り入れており、事業本部、技術部、生産部とは独立した組織で構成され、責任の権限も明確に規定されております。文書化体系は、品質マニュアルに各種標準、規程として纏められ運用しております。また、各製造拠点での品質検討会や品質管理委員会、全社会議として品質会議を開催して、情報の共有化を図っております。更に海外を含めた製造拠点に対し、安全・品質査察を毎年開催し、品質活動のレビュー、及び品質実行計画の進捗をチェックし、工場運営力を確認しております。

当社の品質保証について

当社グループは、製造拠点を国内に6拠点、海外に4拠点持ち、個人のお客様向けの製品から、建築現場や電子部品、車載部品向けまでの多種多様な製品を作り、幅広い分野でご利用いただ

国内工場の品質管理体制

セメダイン茨城工場、三重工場、衣浦工場は、品質マネジメントシステムの国際標準であるISO9001 (JISQ9001)を取得、維持しています。永年にわたりISO認証を維持することで、工場としてものづくりの仕組みが定着しており、お客様の製品に対するご要求に応えられる体制を整えています。また、セメダイン茨城工場、三重工場、およびグループ会社であるセメダインケミカル株式会社岡山工場については、建築用接着剤、建築用シーリング材等のJIS規格の認証を受けており、JISマーク製品をお客様へご提供できる品質管理体制を整えています。日常の品質管理は工場単位の活動ですが、基本的なルールは統一し、セメダイン製品の品質が工場によって異なることがないよう、品質管理委員会などの会議体を通じて情報を共有し、品質向上に取り組んでいます。



2019年に稼働開始した新EP工場

いております。お客様に、安全な製品を確かな品質でご提供できるよう、ISOによる品質管理システムを基に運用、維持しております。今後も当社を取り巻く環境に対応しながら、品質の水準を高めております。

仕入先への訪問、監査の実施

近年は、お客様から、当社の品質管理はもちろんのこと、原材料、商品の仕入れ先についても同様の品質管理体制を要求されることが増えております。このため、仕入れ先を定期的に訪問し、品質管理体制の向上をお願いしております。また、RoHS指令を始めとする化学物質関連の法規制についての関心の高まりから、原材料、容器包装について含有成分を確認するとともに、化学物質の管理体制について実地で監査を実施しております。

お客様の監査への対応

近年、製品の品質だけでなく、製造のプロセスや仕組みを重視するお客様が増えております。そのため、実際に当社の各工場を訪問し、製造の現場をご覧いただき、お客様の要求を直接お聞きすることが、品質向上のために重要な事項と考えます。実際に、この数年はお客様の訪問を受けることが増えております。工場訪問時にいただいたご要望には誠実に対応し、設備、仕組みの改善を進めるとともに、他の作業現場、工場でも適用できることは横断を行って、セメダインの製造技術、製品品質の向上に努めております。また、材料や工程を変更する場合は、品質に変化が生じないことを確認するとともに、事前にお客様に報告し、必要な場合は実地で審査を受ける等の対応も実施しております。

安全情報の提供

当社では、SDS、ラベル、イエローカードなどを通じて、製品の安全に関する情報を提供しています。

安全データシート(SDS)の活用

SDSは、化学品の取り扱い方法や危険有害性に関わる情報を詳しく伝える文書であり、当社製品の安全に関する情報を提供する上で、非常に重要となっています。そのため、お客様、販売代理店、輸送会社などへ提出しています。

労働安全衛生法、JIS改正への対応

2014年の労働安全衛生法の一部改正に伴い、SDSの提供が義務付けられている化学物質について、2016年6月1日からラベル表示の義務が課せられるとともに、事業者によるリスクアセスメントの実施が義務付けられ、対応しています。現在は2019年5月に

化学物質管理委員会の実施

工場・購買・技術・営業・品質など各部門が集まり、定期的(1回/月)に“化学物質管理委員会”を開催しています。本委員会では、国内・海外法規制やお客様・業界個別のグリーン調達などの情報を各部門に伝達し、必要情報の周知・共有化を図り、迅速な対応ができるよう、各部門の役割分担を明確化しています。また、新規登録する原材料についても、各種法規制や取り扱い情報などの報告を行っています。化学物質の取り扱いや製品の安全性など、リスク管理を先取り実施できるように、本委員会にて審議し、全社へ情報を発信しています。

製品のリスク管理への対応

当社は、安全で高品質な製品をお客様にお届けするために、法令、規制の遵守はもとより、予防的アプローチの観点からも、製品の品質や安全性に関する様々な取り組みを行っています。

新製品の適切な評価

当社では、研究開発のテーマ探索から、市場分析、試作、製品化

分析の実施と技術の向上

電気・電子機器用途向け製品については、RoHS指令規制対象物質の分析を定期的に外部機関で実施し、お客様に提供しています。社内分析については、JIS・JAIA・JSIAのF☆☆☆☆(ホルムアルデヒド)分析や、JAIAの4VOC(トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン)分析をはじめ、様々な分析の中から、必要な分析を選定し、各分析の精度を高めるとともに、信頼される測定データの取得に努めております。



JAIA F☆☆☆☆

JAIA 4VOC基準適合

改正されたJIS (JIS Z 7252、JIS Z 7253)に基づくSDSの改訂とラベル表示の見直しを進めています。

ラベルの表示

製品の容器に貼付するラベルには、GHSに対応した取り扱い時の注意点や危険有害性情報を、取り扱い者向けに簡潔に表示しています。

イエローカードの配付

イエローカードとは、製品輸送中の万一の事故に備え、製品の該当法規、性状、応急処置や消防、警察、当社への通報連絡先などを、簡潔に記載した黄色地のカードです。化学品を輸送する会社へ配付し、輸送時の携帯をお願いしています。



に至る4つの段階で、詳細なDR(デザインレビュー)を行っています。有害化学物質などの使用有無の確認、お客様の要求事項への適合性、および法規制対応などについて、初期段階(DR1)から精査し、製品の安全性を第一とした製品開発に取り組んでいます。



サイトレポート

セメダイングループの企業価値向上のために「大切」にしていること

台湾施敏打硬股份有限公司 / TAIWAN CEMEDINE CO., LTD.



所在地 新北市淡水區下圭柔山76-3號
従業員数 45名
設立 1978年
事業内容 接着剤の製造・販売

環境への取り組み

台湾セメダインは大気汚染を防止し環境活動に貢献するために、政府の規範に従ってVOC排気設備を設置しました。VOC排気は活性炭吸着塔でろ過してから環境に排出されます。環境を汚染しないために、再利用可能なリサイクル活性炭を使用し、これを定期的に交換します。更に、定期的に政府に揮発性有機化学物及び粒子状物質の使用状況を報告して関連料金を支払います。

今後、環境規制はますます厳しくなりますが、台湾セメダインも法律に則って行動し、地方自治体と協力して環境の維持・向上に貢献していきます。

品質保証部 鄭静宜(ジェン ジンイ)



VOICE 入社2年目、日々勉強中!

こんにちは、台湾セメダインの浦紫筠(ホ シイン)です。メインは工業設計に関する営業を活動しています。

台湾には世界的なOEM会社が多いです。各社がいかにして多様な製品を生産し、接着剤で固定、応用するのか、顧客を訪問して情報集めるのが私の仕事です。

会社に入る以前は、接着剤は文具店のイメージしかなかったのですが、この会社に入ってから顧客からも教わって、視野が広がりました。

営業部 浦紫筠(ホ シイン)



セメダイン販売株式会社

所在地 横浜市港北区新横浜三丁目18番9号 新横浜ICビル2階
事業内容 接着剤・シーリング材・テープ・塗布機械などの販売

地域とのかかわり

地元密着型による様々な業種への販売

当社は神奈川県横浜市に所在しており、今年で設立45年を迎えました。主に地元企業のお客様が多く、業種は工業・建築・自動車など多岐にわたります。その他一般消費者様への販売も行っています。取引先の規模に関わらず接着剤・シーリング材をご使用のお客様からのご意見・ご感想などお聞きするにあたり、セメダインとして一番顧客に近い立場にいます。この先もそのようなご意見・ご感想をメーカーと共有できるよう社員皆が意識を持ち、地元企業から愛される会社になるよう努力してまいります。



オフィスの様子

セメダイン株式会社 名古屋事業所

所在地 名古屋市中区栄2-3-1 名古屋広小路ビルディング5階
事業内容 接着剤・シーリング材等の販売

安全と防災

定期防災訓練への参加

毎年、春4月と秋10月に名古屋事業所がテナントとして入っているビルでは防災訓練を行っています。営業拠点ということで外出するメンバーが多く、こうした訓練がどうしても後回しになってしまいがちですが、近い将来南海トラフ巨大地震の発生が予測されていることから、今期は事前の啓蒙活動をしっかり行い全員参加を目指しました。結果春秋のべ27名の参加となりました。今後は東日本大震災の教訓として帰宅難民回避が課題となります。



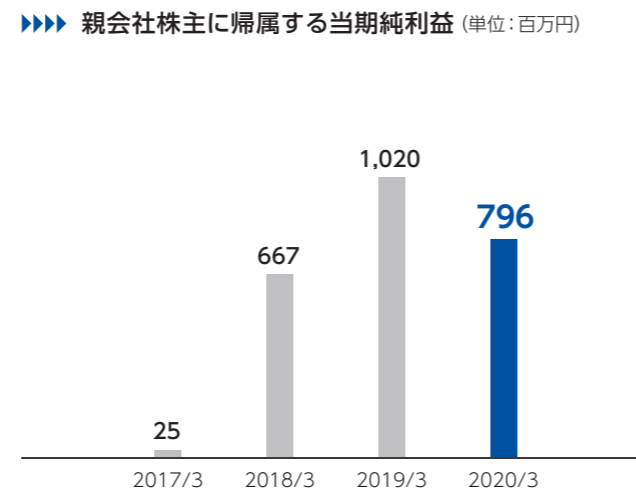
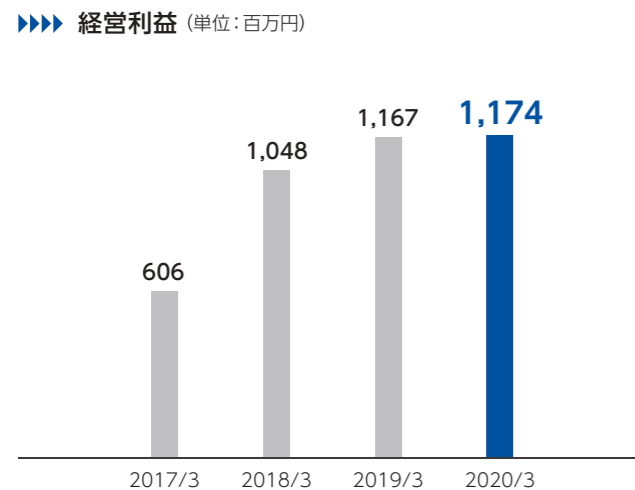
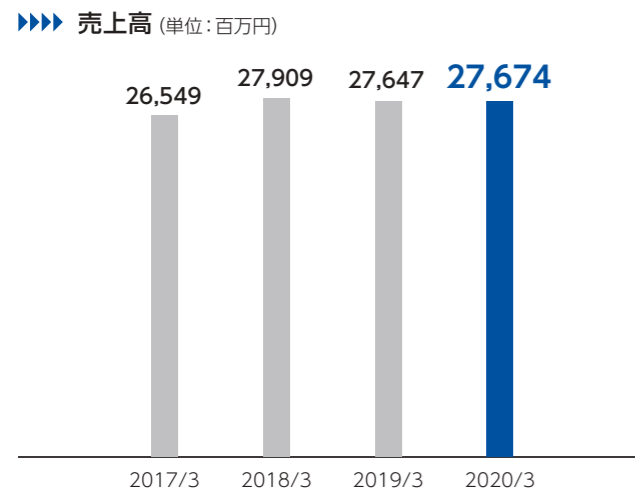
セメダイングループの概要 (2020年3月31日現在)

会社概要

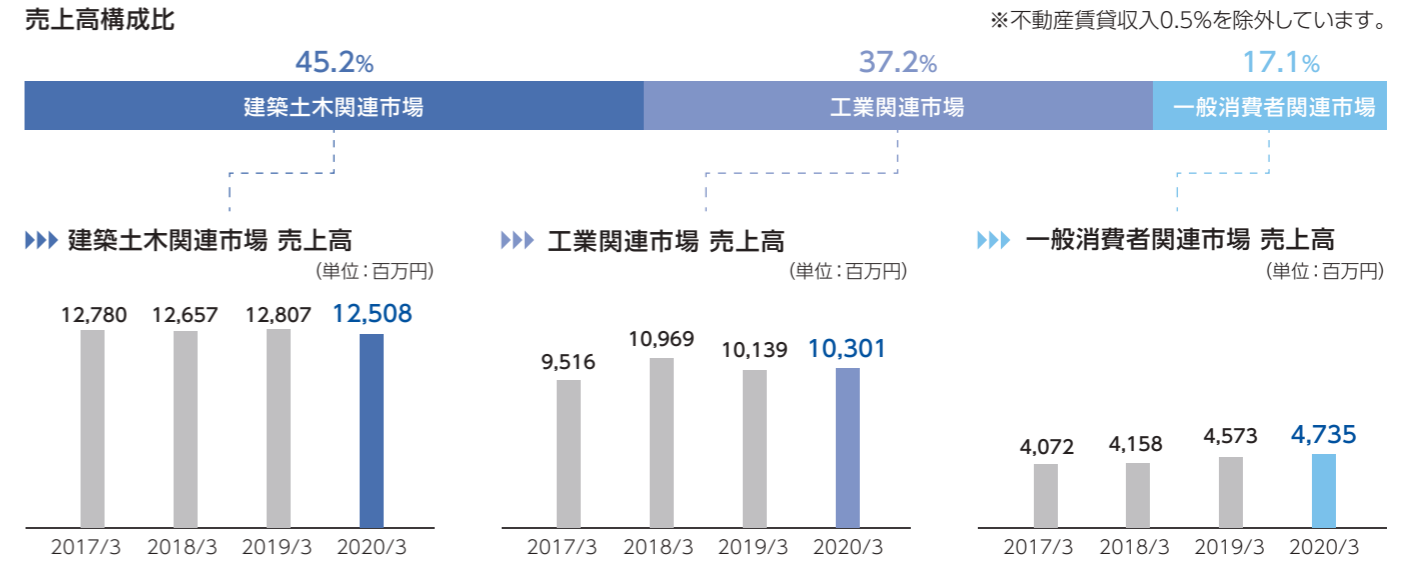
会社名 セメダイン株式会社
本社所在地 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
代表取締役社長 天知 秀介
設立 1948年4月22日(創業:1923年11月)
資本金 30億5,037万5千円
従業員数 341名
事業内容 接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・コーティング剤およびその加工品の製造販売、接着および防水などに関する施工および請負



財務ハイライト



セメダインの事業



TOPIC

“強い接着”から“はがれない接着”へ

弾性接着技術はセメダインが開発した世界初の接着技術です。

弾性接着剤は、これまでの「剛」の物性を高める“硬くて強い接着剤”という考え方から180°転換し、硬化後にゴムのような柔らかさを持ち、“しなやかで剥がれにくい”「柔」の発想で高耐久性を実現しました。

高い耐久性に加え、広範な素材に対する良好な接着性、溶剤を含まず湿気をトリガーに固まる良好な作業性は、工業・建築の様々なモノづくりの現場で、欠かせない接着技術になっています。

建築土木関連市場

タイルエースPro

高い実績と信頼性を誇る壁タイル張り用の接着剤です。弾性接着技術によって、しなやかな物性が躯体やタイルの変形に追従。気温差や地震に強いタイル壁を実現します。



SG-1・L

内装用の多用途接着剤です。近年素材の多様化がすすむ内装部材を素早く接着できます。溶剤を含まないため、屋内の現場で安心して作業ができます。



工業関連市場

スーパーX No.8008

世界中のあらゆるモノづくりに欠かせない、セメダインを代表する接着剤です。非鉄金属とプラスチック、柔らかい材料と硬い材料の組み合わせなど、近年高まりを見せる異素材接合ニーズにもお応えします。



SX720

スーパーXの、「広範な接着性能」「高耐久性」「難燃性能」を付与した、電子部品用接着剤です。基板の電子部品固定などに使用されています。



一般消費者関連市場

スーパーX

産業の現場で高い信頼と実績を持つスーパーXですが、1997年からはホームセンターでも買えるようになりました。スーパーXを少量試したいエンジニアのほか、ハンドメイドやDIYなど様々な生活シーンで「モノづくりのパートナー」として広く活躍しています。



日本

事業所	生産拠点	開発拠点	国内の主な関係会社
本社、東京事業所	茨城工場	開発センター	セメダイン販売株式会社
大阪事業所	三重工場		セメダイン化工株式会社
名古屋事業所	衣浦工場		セメダインケミカル株式会社
札幌営業所			
仙台営業所			
福岡営業所			



タイ

CEMEDINE (THAILAND) CO., LTD.
1717/1 Onnut Road, Suanluang,
Bangkok 10250 Thailand



ASIA CEMEDINE CO., LTD.
1717/1 Onnut Road, Suanluang,
Bangkok 10250 Thailand



中国

思美定(上海)貿易有限公司 / CEMEDINE SHANGHAI CO., LTD.
200120 中国上海市浦东新区陆家嘴环路1000号
恒生銀行大廈39楼



フィリピン

CEMEDINE PHILIPPINES CORP.
Block2, Cavite Economic Zone II,
General Trias,Cavite, Phillippines 4107



台湾

台湾施敏打硬股份有限公司
台湾新北市淡水區下圭柔山76-3號



America

アメリカ

CEMEDINE NORTH AMERICA LLC
2142 Western Avenue, Cincinnati,
OH 45214 USA

